

平成28年 6月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年 5月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成28年 5月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468							
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455							
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360							
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年 5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝106円台半ばで取引が始まり、前月末から継続した円買いの流れを受けて3日には約1年7か月ぶりの安値となる105円台半ばをつけました。ところが、日欧株価の堅調な推移や日本政府の為替介入への警戒感の高まり等を背景にドルが買われ、10日には109円台前半まで値を上げました。その後も、消費増税先送りや日銀追加緩和に対する思惑が交錯するなか、良好な米国経済指標の結果を背景に米国早期利上げ期待が高まると緩やかな円安傾向で推移し、110円台後半で月末を迎えました。米ドル／円の月を通じての変動率は、高い変動率となった前月から大きく低下しました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、英ポンド／円が比較的高い変動率を維持したものの総じて変動率は低下し、米ドル／円を含めての全体としての変動率も前月の水準を大きく下回りました。

このような状況の中、外国為替取引高は、変動率の低下に加えゴールデンウィーク期間の取引参加者の減少等の影響により、前月比8%減少の684億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月と比べ相場変動によるカバーレートの悪化等から低下していた取引高当たり収益性が回復したことから468百万円と減少幅は前月比1%にとどまりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,469口座増加の278,360口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金も、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金の減少があったものの、緩やかな円安により顧客損益が改善したことを背景に前月末比64百万円増加の59,478百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月比383百万円減少の10,205百万円であります。

以 上